2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	鍼灸スポーツ学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	臨床医学総論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	通年	教室名	
担 当 教 員	鈴木次郎	実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

医療人としての基本的な診察方法、臨床症状の特徴を学ぶ。
前期では、一般検査や血液生化学検査、治療法を中心に学習をすすめる。

《成績評価の方法と基準》

1. 定期試験:100%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

東洋療法学校協会編:臨床医学総論　第2版. 医歯薬出版
東洋療法学校協会編:臨床医学各論　第2版. 医歯薬出版
ずっと使える！鍼灸臨床BOOK. 滋慶出版/つちや書店

《授業外における学習方法》

臨床医学各論、鍼灸診断学、鍼灸治療学の授業内容との関連を意識すること
自身の定期健康診断の検査項目を確認しておくこと

《履修に当たっての留意点》

医療人として、患者情報(主観・客観)を理解することは、適切な鍼灸施術を進める上で、最も重要な知識のひとつです。患者から信頼を得る鍼灸師として『疾病』と『症状』について、臨床医学各論や鍼灸診断学、鍼灸治療学とあわせて理解を進めてください。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	一般検査(尿・便)の内容を習得する(説明できる)	プリント 教科書	教科書の目次を一読しておく
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション、一般検査1		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	一般検査(血液検査)の内容を習得する(説明できる)	プリント 教科書	教科書のp.159-p.164を一読しておく
		各コマにおける授業予定	一般検査2		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	血液生化学検査の内容を習得する(説明できる)	プリント 教科書	教科書のp.164-p.168を一読しておく
		各コマにおける授業予定	血液生化学検査1		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	血液生化学検査の内容を習得する(説明できる)	プリント 教科書	教科書のp.164-p.168を一読しておく
		各コマにおける授業予定	血液生化学検査2		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	生理学的検査の内容を習得する(説明できる)	プリント 教科書	教科書のp.169-p.174を一読しておく
		各コマにおける授業予定	生理学的検査の概要		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	画像診断の概要を習得する(説明できる)	プリント 教科書	教科書のp.169-p.174を一読しておく
		各コマにおける授業予定	画像診断の概要		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	治療学の概要を習得する(説明できる)	プリント 教科書	教科書のp.268-p.270を一読しておく
		各コマにおける授業予定	治療学の概要		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	薬物療法の内容を習得する(説明できる)	プリント 教科書	教科書のp.270-p.273を一読しておく
		各コマにおける授業予定	薬物療法		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	食事療法・理学療法・その他の療法を習得する(説明できる)	プリント 教科書	教科書のp.273-p.277を一読しておく
		各コマにおける授業予定	食事療法・理学療法・その他の療法		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	聴診，体温の検査意義を習得する(説明できる)	プリント 教科書	教科書のp.23-p.37を一読しておく
		各コマにおける授業予定	第2章5聴診，第3章1体温		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	正常呼吸と異常呼吸の検査意義を習得する(説明できる)	プリント 教科書	教科書のp.23-p.37を一読しておく
		各コマにおける授業予定	第3章　4呼吸		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	診察(顔貌・顔色、精神状態、言語、身体計測、体型・体格、栄養状態)の内容を習得する(説明できる)	プリント 教科書	教科書のp.42-p.68を一読しておく
		各コマにおける授業予定	第4章　全身の診察(顔貌・顔色、精神状態、言語、身体計測、体型・体格、栄養状態)		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	診察(姿勢と立位、歩行)の内容を習得する(説明できる)	プリント 教科書	教科書のp.42-p.68を一読しておく
		各コマにおける授業予定	第4章　全身の診察(姿勢と立位、歩行)		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	診察(皮膚・粘膜・皮下組織、爪、リンパ節、その他)の内容を習得する(説明できる)	プリント 教科書	教科書のp.42-p.68を一読しておく
		各コマにおける授業予定	第4章　全身の診察(皮膚・粘膜・皮下組織、爪、リンパ節、その他)		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	前期内容の理解を評価する	プリント 教科書	前期の範囲を見直すこと
		各コマにおける授業予定	まとめ　評価		

2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	鍼灸スポーツ学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	臨床医学総論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	通年	教室名	
担 当 教 員	鈴木次郎	実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

医療人としての基本的な診察方法、臨床症状の特徴を学ぶ。
前期では、一般検査や血液生化学検査、治療法を中心に学習をすすめる。

《成績評価の方法と基準》

1. 定期試験:100%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

東洋療法学校協会編:臨床医学総論　第2版. 医歯薬出版
東洋療法学校協会編:臨床医学各論　第2版. 医歯薬出版
ずっと使える！鍼灸臨床BOOK. 滋慶出版/つちや書店

《授業外における学習方法》

臨床医学各論、鍼灸診断学、鍼灸治療学の授業内容との関連を意識すること
自身の定期健康診断の検査項目を確認しておくこと

《履修に当たっての留意点》
医療人として、患者情報(主観・客観)を理解することは、適切な鍼灸施術を進める上で、最も重要な知識のひとつです。患者から信頼を得る鍼灸師として『疾病』と『症状』について、臨床医学各論や鍼灸診断学、鍼灸治療学とあわせて理解を進めてください。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	局所の診察(頭部・顔面・眼)と疾患の内容を習得する(説明できる)	プリント 教科書	教科書の目次を一読しておく
		各コマにおける授業予定	第5章　局所の診察(頭部・顔面・眼)と疾患		
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	局所の診察(鼻・耳・口腔・頸部)と疾患の内容を習得する(説明できる)	プリント 教科書	教科書のp.72-p.103を一読しておく
		各コマにおける授業予定	第5章　局所の診察(鼻・耳・口腔・頸部)と疾患		
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	局所の診察(胸部・乳房・心臓)と疾患の内容を習得する(説明できる)	プリント 教科書	教科書のp.72-p.103を一読しておく
		各コマにおける授業予定	第5章　局所の診察(胸部・乳房・心臓)と疾患		
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	局所の診察(腹部)と疾患の内容を習得する(説明できる)	プリント 教科書	教科書のp.72-p.103を一読しておく
		各コマにおける授業予定	第5章　局所の診察(腹部)と疾患		
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	局所の診察(背部・四肢)と疾患の内容を習得する(説明できる)	プリント 教科書	教科書のp.72-p.103を一読しておく
		各コマにおける授業予定	第5章　局所の診察(背部・四肢)と疾患		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	運動機能検査(運動麻痺・筋肉の異常)と疾患の内容を習得する(説明できる)	プリント 教科書	教科書のp.131-p.141を一読しておく
		各コマにおける授業予定	第7章　運動機能検査(運動麻痺・筋肉の異常)と疾患		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	運動機能検査(不随意運動・協調運動・起立と歩行)と疾患の内容を習得する(説明できる)	プリント 教科書	教科書のp.182-p.264を一読しておく
		各コマにおける授業予定	第7章　運動機能検査(不随意運動・協調運動・起立と歩行)と疾患		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	おもな症状の診察法の内容を習得する(説明できる)	プリント 教科書	教科書のp.182-p.264を一読しておく
		各コマにおける授業予定	10章　おもな症状の診察法1		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	おもな症状の診察法の内容を習得する(説明できる)	プリント 教科書	教科書のp.182-p.264を一読しておく
		各コマにおける授業予定	10章　おもな症状の診察法2		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	おもな症状の診察法の内容を習得する(説明できる)	プリント 教科書	教科書のp.182-p.264を一読しておく
		各コマにおける授業予定	10章　おもな症状の診察法3		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児疾患・一般外科・麻酔科の内容を習得する(説明できる)	プリント 教科書	各論教科書のp.285-p.326を一読しておく
		各コマにおける授業予定	小児疾患・一般外科・麻酔科		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	婦人科疾患・皮膚科疾患・眼科疾患・耳鼻科疾患の内容を習得する(説明できる)	プリント 教科書	各論教科書のp.285-p.326を一読しておく
		各コマにおける授業予定	婦人科疾患・皮膚科疾患・眼科疾患・耳鼻科疾患		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神疾患・心療内科、および臨床心理の内容を習得する(説明できる)	プリント 教科書	教科書のp.279-p.285と各論教科書のp.285-p.326を一読しておく
		各コマにおける授業予定	精神疾患・心療内科、第12章　臨床心理		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	その他の診察(救急時・女性・小児・高齢者)の内容を習得する(説明できる)	プリント 教科書	教科書のp.153-p.156を一読しておく
		各コマにおける授業予定	8章　その他の診察		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	後期内容の理解を評価する	プリント 教科書	後期の範囲を見直すこと
		各コマにおける授業予定	まとめ　評価の確認		